

我が町再発見 下里ささら獅子舞



奉納される獅子舞

下里ささら獅子舞は、古くは7月13日～15日の3日間、下里八宮神社、八坂神社、大聖寺に奉納してきました。昭和39年に一時活動を休止し43年に復活、保存会を発足いたしました。

現在に至るまで大人から子どもたちへと引き継がれ、練習も6月中旬から毎日曜日を中心に行なっています。ことしは、7月15日の午前中は八宮神社、午後は大聖寺に奉納いたしました。真夏の一日、下里4区センターから奉納寺社まで、太鼓や笛の音が響き^{おどろ}やかな気持ちになります。



下里ささら獅子舞保存会笛太鼓指導員 関根俊治



議員 記者クラブ

シリーズ 安全・安心の主役たち④

「青少年補導員」

青少年補導員は町内各地区から選出され、町長が任命する形になっていますが、まったくのボランティアとしての活動になります。地域ごとのお祭りや七

夕祭りなどでのパトロール、学校周辺の見回りなど、町の安全・子どもたちの安全に欠かせない団体です。人数は124人、今回はそのリーダー大塚利雄委員長取材しました。



Q 具体的にはどんな活動があるのですか？

A 学校との連携による、周辺の見回り。例えば「変質者が出た」という情報を得れば、その場所を集中的に見回ります。地区ごとのお祭りでのパトロールも大事な仕事です。おみこしが練り歩くときには交通整理もしたりしますね。

Q 子どもたちのために、いろいろなことをしてくださっているんですね。「補導」という部分では？

A 警察とは違うので、直接補導することはできません。でも声かけをしたり、必要なら警察に連絡もします。非行や犯罪につながらないように、早めに見つけて手を打ってあげたいと心がけています。

Q 読者に伝えたいことは何かありますか？

A 研修で、少年刑務所などにも行きますが、一度犯罪に手を染めてしまうと、そこから抜け出すことがいかに大変なのかを実感しました。そうならないためにも、みんなで連携することが大切ですね。

Q 今後考えていらっしゃることは？

A 地域と学校の連携の橋渡しになれば。学校と情報を共有しながら、「声かけ」や「励まし」ができたと思っています。

担当：山口

編集後記

8月号は2～3ページに小川小学校の耐震工事を報告させていただきました。3.11 東日本大震災以降、NHK テレビなどで震災対策情報を放映して、皆さんに注意を促しています。

首都直下型地震も数年後には起きることを前提に、物事

を考えるよう奮起をしております。

町は、八和田小、東中、小川小の耐震工事を進め、西中は地震に強い改築工事に取り組んでいます。行政のやるべき対策の役割、家庭は何を準備すべきか、真剣に考えておくことが必要と考えます。

編集委員 小林一雄

この広報は古紙を配合した紙を使用しています。



議会だより おがわ No.64

小川町議会だより 64号

平成24年8月1日発行

発行：埼玉県小川町議会 編集：議会広報発行特別委員会

〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚 55 番地

TEL 0493-72-1221 FAX 0493-74-6877

http://www.town.ogawa.saitama.jp/kurashi/gikaiinfo

議会広報発行特別委員会

議長	松本 修三
委員長	柳田多恵子
副委員長	山口 勝士
委員	小林 一雄
委員	柴崎 勝
委員	大戸 久一
委員	高瀬 勉

議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会の開会予定は

9月3日(月)です